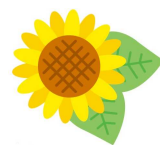


ひまわり



令和2年12月7日(月)

大阪に住む者としての良識を



新型コロナウイルスのワクチン開発が進んでいます。ロシアのモスクワでは、5日から医療関係者などに対して国産ワクチンの接種が始まりました。イギリスでは、8日からアメリカのファイザー社のワクチン接種が始まります。開発されたワクチンが有効であれば、現在の新型コロナウイルス感染症の状況は激変することでしょう。日本の状況はどうでしょうか。ワクチン接種に関する情報は、厚生労働省のホームページに掲載されています。

そこには次のような記載がありました。

「現在のところ、接種開始の時期の見通しは未定です。新型コロナウイルス感染症のワクチンの開発が進められていますが、一定の品質・有効性・安全性が確認されたワクチンがいつできるかは、現時点では分からないためです」

ワクチン開発には、通常とても長い期間を要します。なぜなら、上記のとおり、ワクチンには高い「安全性」と「有効性」が求められるからです。日本のスタンダードでは、「ある程度の安全性・有効性」では接種が認められないのです。

そうであれば、日本では、今後も感染状況はこれまでの経過を繰り返すことでしょう。第3波が収まって、やがて第4波がくるかもしれません。このような状況を考えた時、私たちはどのようなことに気をつけるべきでしょうか。

現在、大阪では「大阪モデル非常事態」となっています。今月15日まで、できるだけ不要不急の外出をひかえるように求められています。

昨日、食材を買うために近くのショッピングモールに出かけました。そこに向かう道路は、他府県を含むさまざまな地域のナンバープレートの車で渋滞していました。ショッピングモール内の混雑状況が想像されたので引き返しました。他の地域から来ている多くの人は、おそらく不要不急ではないと考えられます。

今、私たちに求められることは、現在の危機的状況をよく認識し、不要不急の外出を避けるなど良識ある行動をとることです。新型コロナに慣れてしまった今だからこそ、その危険性についても再認識する必要があります。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

